

2022年度

第18回 能美中学校新人陸上競技大会(実施要項案)

1. 主催 能美中学校体育連盟
2. 共催 能美市教育委員会、川北町教育委員会、能美市陸上競技大会、川北町陸上競技協会
3. 日時 令和4年9月17日(土) ※雨天決行
4. 場所 能美市物見山陸上競技場
5. 種目 男子 (共通種目)100m・200m・400m・800m・3000m・110mH・
走幅跳・走高跳・砲丸投(4.0kg)・4×100mリレー
(1年種目)100m・1500m・走幅跳
女子 (共通種目)100m・200m・800m・1500m・100mH・
走幅跳・走高跳・砲丸投(2.721kg)・4×100mリレー
(1年種目)100m・800m・走幅跳

6. 競技日程(案)

① 9:00	1年男子1500m	⑨ 10:50	共通女子100mH	⑮ 14:30	1年女子走幅跳
② 9:15	1年女子100m	⑩ 11:10	共通男子110mH		共通女子走幅跳
③ 9:30	1年男子100m	⑪ 11:30	共通男子400m		共通男子走高跳
④ 9:45	共通女子100m	⑫ 11:50	共通女子200m		共通男子砲丸投
⑤ 10:00	共通男子100m	⑬ 12:05	共通男子200m	⑯ 15:00	共通女子1500m
⑥ 10:20	共通男子800m	⑭ 13:30	1年男子走幅跳	⑰ 15:10	共通男子3000m
⑦ 10:30	1年女子800m		共通男子走幅跳	⑱ 15:30	共通女子4×100mR
⑧ 10:40	共通女子800m		共通女子走高跳	⑲ 15:40	共通男子4×100mR
			共通女子砲丸投		(進行状況により時間変更あり)

7. 参加規定

- ・一人3種目以内(リレーは除く)
- ・共通種目⇒1・2年、1年種目⇒1年のみ参加できる。
- ・リレーは各校男子2チーム、女子2チーム参加できる。

8. 競技規則

- ・2022年度日本陸上競技規則に準拠する。
- ・召集は本部前にスタートリストを掲示するので、棄権が事前に分かっている場合はそのスタートリストの選手名に×を付け、競技会途中での棄権する場合はスタート現地で出発係に直接申し出る。召集完了時刻の10分前までにスタート現地に集合し、点呼・確認を行う。
- ・アスリートビブスは令和3年度能美中体連陸上競技部登録ナンバーを使用する。
(根上:101～、寺井:201～、辰口:301～、川北:401～)
- ・腰ナンバーカードについては各校でレーン番号のものを準備する。

9. 参加申込

- ・大会準備顧問会に申込用紙(個表に最高記録を記入)を持参し、事前にデータを送ること。
〔9月8日(金)14時00分 辰口中学校 会議室〕

10. 表彰

- ・個人表彰は各種目3位まで賞状を授与する。
- ・リレーについては2位まで賞状を授与する。
- ・総合優勝校に賞状・優勝杯を、2位には賞状を授与する。
(入賞点:1位→3点・2位→2点・3位→1点)

11. 会場準備 9月17日(土)7時00分

12. 競技方法

- ・100m～400mまではレーンで行ない、スターティングブロックを使用する。
- ・トラックレースはすべてタイムレースとする。
- ・走高跳は次のようにバーを上げる。
男子⇒(練習1m25)1m30～1m60まで5cm刻み→以降3cm刻み
女子⇒(練習1m10)1m15～1m40まで5cm刻み→以降3cm刻み

13. その他

- ・審判役員は能美市陸上競技協会、川北町陸上競技協会に協力を依頼する。
- ・大会運営上、競技役員・選手以外のものは競技場内に入らないこと。
- ・選手のウォーミングアップは、芝生広場及び芝生スタンド(バックスタンド)下で、競技の妨げにならないように行なうこと。
- ・スパイクピンは7mm以下の全天候用を使用すること。
- ・昨年度の総合優勝 男子総合:根上中学校 女子総合:辰口中学校

14. 新型コロナウイルス感染症対策

【選手】

- ・感染者(濃厚接触者)が出た学校の選手は、大会への参加を見合わせ、感染者の出していない学校の選手で実施する。
- ・大会当日、体温37.5度を超える場合は参加できない。
- ・「健康チェックシート」に当日朝の体温等必要事項を記入し、保護者の署名・押印の上、提出する。
- ・テントを張る場合はサイドシート等で周りを覆うことなく、密にならないようにする。
- ・競技場内や競技中は密閉・密集を避け、近距離での会話や大声での発声を避ける。隣との間隔を約2mあける。
- ・招集方法は、招集時刻までに選手がスタートリストに○を付けて完了とする。
- ・トラック競技の腰ゼッケンは複数の選手で共有しない。
- ・待機時はマスクを着用する。
- ・競技前、競技後に必ず手洗いを行う。特に共有する用器具に触れる種目は、前後の手洗いを徹底して行う。(バトン、砲丸、スタブロなど)
- ・出発点や試技場での選手待機時には、選手同士は前後左右の間隔を約2m開け、審判の指示、出場確認をうける。
- ・競技終了後は、審判の指示により速やかに退場する。
- ・器具を触った手で口や目に触らず、競技前後に入念な手洗いをする。
- ・ゴミはすべて持ち帰る。

【競技役員】

- ・当日の朝、37.5度を超える場合、審判はできない。
- ・「健康チェックシート」に当日の体温等必要事項を記入し、提出する。
- ・競技場では、マスク着用、手洗い(特に、用器具に触れる場合の前後)を励行する。
- ・密集や近距離での会話や大声での発声を避ける。選手にも競技前に指導する。
- ・審判人数は、競技の状況によるが少数で行う。
- ・「競技者係」の点呼については、招集開始時刻まで選手がスタートリストに○を付けて点呼完了とする。○が付いていない場合は、棄権と判断する。
- ・出発点、試技場での選手集合については、待機場所のスペースを十分取ること。各選手間と各組内及び各組毎の間隔を約2mとり、選手確認をする。選手の状況に応じて、集合時間に時差を設けて実施しても良い。
- ・競技終了後は、選手に連絡等を伝え速やかに退場するよう指示し、審判も同様とする。